1級建築士 合格実績 No.1
令和6年度 1級建築士 学科・設計製図試験
全国ストレート合格者占有率 64.3%
物講受利用者 当学院受講者
当学院当年度受講生
全国ストレート合格者 1,036名中/当学院当年度受講生 666名
※合格者数は（公財）建築技術教育普及センター発表に基づく。（令和6年12月29日現在）
総合資格学院
建築士・施工管理・不動産系資格取得なら当学院にお任せ！ 各種法定講習も実施中！
田中 道子さん 総合資格学院イメージキャラクター 令和4年度一級建築士試験合格 当学院受講生・俳優
www.shikaku.co.jp 総合資格 検索 X ⇒「@shikaku_sogo」 LINE ⇒「総合資格学院」 Instagram ⇒「sogoshikaku_official」

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS
日刊 建設工業新聞
2025年（令和7年）4月7日（月）第21071号
記事 電話03－6778－4614 mail-ed@decn.co.jp　購読 電話03－6778－4750 mail-sa@decn.co.jp　広告 電話03－6778－4682 eigyo@decn.co.jp
大阪支社 TEL 06(6942)2601 osaka@decn.co.jp
名古屋支社 TEL 052(961)2631 nagoya@decn.co.jp
横浜支社 TEL 03(4361)2090 yokohama@decn.co.jp
関東支社 TEL 03(4361)2090 kanto@decn.co.jp
東北支社 TEL 022(222)4222 tohoku@decn.co.jp
九州支社 TEL 092(741)4605 kyusyu@decn.co.jp
北海道総局 TEL 011(261)7653 hokkaido@decn.co.jp
千葉総局 TEL 03(4361)2090 chiba@decn.co.jp
北陸総局 TEL 025(229)5411 hokuriku@decn.co.jp
中国総局 TEL 082(221)7236 hiroshima@decn.co.jp
四国総局 TEL 087(837)5072 shikoku@decn.co.jp
発行所 日刊建設工業新聞社　〒104－0045 東京都中央区築地５－６－10　電話03(4361)2090　https://www.decn.co.jp/
©日刊建設工業新聞社 2025

ウクライナ 戦後復興へ
日ウ官民協議会始動
インフラ再建急務 遠隔施工に高い関心

国土交通省や国内建設会社などでつくる「日ウクライナ・国土交通インフラ復興に関する官民協議会」（JUPITeR〈ジュピター〉）が本格的に始動した。3月5～7日に官民のミッション団が現地を訪問。戦後復興を見据え、日本の建設会社が参画できるよう環境整備に入った。ウクライナでは遠隔施工など日本の技術や資金力への期待が高く、手応えを感じた国交省は次回訪問の検討も始めた。

世界銀行の調査によると、ウクライナの復興需要は5240億ドル（日本円換算で約79兆円）に上る。特に被害が大きいエネルギーインフラや交通インフラの再建が急務。重要な橋梁をトンネル化する構想もあるという。国内外の避難者が戻るため、将来的な住宅需要も必要となる。

官民のミッション団は、国交省の小笠原憲一官房海外プロジェクト審議官をトップに、ジュピター加盟のゼネコン、建設コンサルタント、商社、流通企業ら15者17人が参加した。政府機関や金融機関、経済団体を訪問したほか、キーウ市内の再開発現場なども視察した。国交省の担当者によると、会談でウクライナ側からは破壊されたものを元通りではなく、より良いものに立て直す「ビルド・バック・ベター」という言葉が繰り返し聞かれ、経済復興への強い意欲を感じられた。

キーウ市内では再開発の工事が続くなど戦時色は薄い（国交省提供）

日本の技術などを紹介したところ、遠隔施工がウクライナ側の目に留まった。出征や国外避難で人材不足が深刻化する中、女性や戦傷者が建設工事に従事可能な技術として高い評価を受けた。遠隔施工技術は世界的にも日本がリードする分野で、人材不足という点で両国は共通する。国交省は次回訪問団を送る際、現地でデモンストレーションを行うことも検討している。

「キーウの街は戦時下にもかかわらず平穏で、通常の生活が営まれていることに驚いた」とある参加者は振り返る。防空網が整備され市街地への着弾は少なく、警報が鳴っても避難しない住民が多い。

外務省は全域に退避勧告を出しており、現地訪問のハードルは高いが、国交省は分野ごとに現地企業と交流を深める次回訪問を調整中。「対面でコミュニケーションを取る効果は大きい。停戦を見据えつつ、早くからつながりを作ることは重要だ」としている。

米相互関税
建設業界 懸念広がる
国内市場への影響注視

トランプ米政権が9日午前0時1分（日本時間午後1時1分）から日本に24%の相互関税を適用すると表明し、建設業界でも懸念が広がっている。業績への影響が避けられないとみられるのが米国輸出も多い建設機械。日本建設機械工業会は「影響は必ずある」とし調査を始めた。元請団体やゼネコンは国内市場にすぐに影響はないと見るものの、米国での受注に響くと懸念する声も多い。業界が注力してきた賃上げに水を差す恐れもある。

建機最大手のコマツは米輸出用建機を製造する工場が石川県内の各地にある。同県担当者は地域経済への影響について「情報収集しており対策はこれからだ」（商工労働部産業政策課）

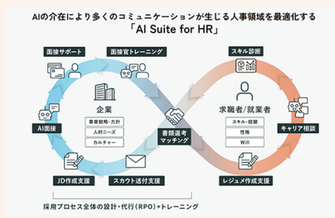
「業界が最も懸念するのは日本の景気、実体経済への悪影響だ」と話すのは元請団体の幹部だ。あるゼネコンは「ただちに国内市場に大きく影響することはなく、業績への影響は比較的軽微」としつつも、「製造業が米国投資を増やし国内生産拠点への設備投資を抑える懸念があり、顧客の投資動向を一層注視する必要と身構える。

きょうの紙面

技術基準の作成支援など推進

砂防・地すべり技術センター（ＳＴＣ）が研究・業務に関する中長期計画を策定した。おおむね10年の取り組み、技術的な課題と対応テーマなどをまとめた。国土交通省の河川・砂防技術基準案の作成などを支援。火山砂防・地滑りの技術開発、土砂・洪水氾濫の計算手法の検討なども進める。２面

ＡＩで面接官のスキル向上



ＰＫＳＨＡ Ｔｅｃｈｎｏｌｏｇｙ（パークシャテクノロジー）が、ＡＩを使った面接官のスキル向上に取り組んでいる。３面

26年度に提案型導入

堺市がＩＣＴ活用工事の総合評価方式に新たな評価方法を取り入れる。26年度に「提案評価」を導入。詳細は今後検討しガイドラインに盛り込む。現行の「実績評価」は24年度末で原則廃止し、「ＩＣＴ活用証明書」の交付をやめた。評価方法の見直しに合わせ、ＩＣＴ活用工事試行要領を改定。８面

２期区間に着工

北九州市が「都市計画道路戸畑枝光線」（戸畑区戸畑～八幡東区東田、延長4.4km）の２期区間（1.7km）の工事に着手する。トンネル延長840mのうち、最も深い地点である明治町アンダーパスの下の30m部から工事を行う。工法は推進工法で、公告時期や入札方式は未定。９面

総合資格
量・質とも〝ナンバー1〟に
佐藤（さとう） 拓也（たくや）氏

新社長

日本で最も多くの1級建築士合格者を輩出し続ける教育機関のかじ取りを託された。受講生のニーズや教育環境の多様化・変化に応える商品を提供。高い倫理観と最新の知識を備える有資格者を送り出し、建設業界に貢献する。自主的に運営管理する組織や風土を築き、持続的な成長、発展を目指す。

◇

――就任の抱負を。

「2年前に『マーケットイン』『受講生ファースト』をキーワードに、経営体制を大きく刷新した。1級建築士合格者の占有率ナンバー1を維持しているが、二つのキーワードを経営の軸に据えるとナンバー1は違うところにもある。受験生皆さまの要望や困りごとに応える商品を市場に投入し、受講生や社会に求められる会社にする。占有率ナンバー1に満足せず、さまざまな受験生のニーズに合った講義内容や受講環境などさらに質のナンバー1を目指す」

――2024年11月に組織を改編した。

「トップダウンの経営からボトムアップの組織に移行するため北日本、関東、中日本、西日本の4ブロック体制を敷いた。組織を四つに集約し人材を再配置して自主的に運営管理する。自分たちで会社を変えようという意識、風土を醸成していきたい。経営体制の新陳代謝も重要。社会が大きく早く変わる中、風向きを敏感に捉え、有機的な動きができる組織体にしていく」

――注力する事業は。

「建築士をはじめ施工管理技士や建築設備士など資格試験の講座が事業の柱に変わりはない。人と人が向き合うライブ講義という強みをさらに磨きつつ、オンライン講義など多様化するニーズに応える商品も投入する。教育のDX化にも力を注ぎ、AI活用、LMS（学習管理システム）を充実させる」

――長く学生支援にも取り組む。

「建築を学ぶ学生は、卒業時に建築以外の道へと進む人も少なくない。しかし建築を学んだ学生には建築の道に進んでほしい。そんな思いで建築学生のイベント支援を続け、さらに広げている。建設と教育の両業界に携わるニュートラルな立場だからこそできることがあると思う」

――1級建築士事務所「総合資格アーキテクトスタジオ」が本格始動し1年がたつ。

「自社物件の大規模改修や修繕の調査・監修業務、建て替えの企画・調査・監修などさまざまな経験を積み、実務経験、スキルアップという当初の目的を具現化しつつある。建築士資格の受験要件が変わり、知識はあるが現場経験のない20代前半の受験生が増えた。自社物件を講座や教材に活用し受講生に理解を深めてもらう。教育のさらなる質の向上にもつなげていきたい」。

（4月1日就任）

1986年東海大学工学部建築学科卒。ゼネコン設計部を経て、99年総合資格入社。2020年11月執行役員、21年11月常務執行役員、24年6月取締役教務本部担当。23年10月から総合資格アーキテクトスタジオ代表取締役を兼務。神奈川県出身、61歳。若い頃に習っていたタップダンスを再開させたいと考えている。

特定技能評価試験
実施環境を改善
JAC、受験料も引き下げ

建設技能人材機構（JAC）は特定技能外国人のスキルアップや、海外の試験合格者と会員企業に対する情報提供に一段と力を入れる。受験者の増加を踏まえ、特定技能評価試験の実施環境を改善したり、受験者のテキスト理解を促したりする。補助金を利用し、自己負担2000円としてきた受験料を海外・国内ともに1000円負担に下げる。海外の試験合格者と日本企業の情報交換ツールの利用なども進める。

2027年度に施行予定の育成就労制度と特定技能制度の一体運用、2号特定技能への移行を見据え、スキルアップを支援する考え。公開されるサンプル問題に過去問題を大幅に追加。1号、2号の試験の計150問程度を加える。2号の過去問題には漢字に読み仮名を付ける。1号向けのテキスト、職長テキスト、サンプル問題、圧縮版の勉強資料は10以上の言語で翻訳し、順次提供する。

1号の海外での評価試験は▽ベトナム▽フィリピン▽インドネシア▽カンボジア▽ミャンマー▽タイ▽ネパール▽モンゴル▽スリランカ▽バングラデシュ▽ウズベキスタン▽インドーなどで行う。2号や、インドネシアの受験者が増えており、会場や回数を検討する。

母国語で学べる無料の日本語講座は5月にミャンマー語を追加する。オンライン、ビデオ教材、スマートフォンのアプリケーションなどで試験合格と会話力の向上を引き続き支援する。

海外の試験合格者と会員の建設会社が情報をやりとりできる「特定募集情報等提供事業」のPRも進める。採用につながる事例が出ているものの、会社の登録が多くないという。ホームページや説明会などで情報を発信し、合格者と会社双方の利用を促進する。

防水工事
高山工業株式会社
本社 東京 ☎03（3265）5631（代）
大阪支店06（6386）9312
千葉営業所043（421）5451
北関東営業所048（799）0720

回転窓

旅がらすの麻しん（はしか）ウイルス、その名も「はっしー」が人体に侵入して大暴れ！ こんなストーリーから始まる児童向けの『うつる病気のひみつがわかる絵本2 はしかウイルスのはっしー』（おかだはるえ・文、あおきひろえ・絵／ポプラ社）は感染や予防の基礎を学べて大人にも参考になる▼ウイルスがどのように体内で増え、これらと免疫がどう戦うのか。医学博士の著者（文）がキャラクターを通じて分かりやすく解説する▼米国で2月、同国内では10年ぶりにはしかによる死者が確認された。海外で感染者が増え、日本でも増加傾向にあるという▼感染者が出た自治体では、他の人へ感染させてしまう可能性のある期間に患者が利用した公共交通機関などの情報を公表している。はしかはウイルスの中でも強い感染力を持つ▼はしかを「命定め」の病と恐れた江戸時代に数多く出版されたのが「はしか絵」。感染しないために避けることなどが描かれ、これらの錦絵がはしかに関する情報を広める役割も果たした。流行期は春から夏にかけて。予防接種の効果など正しい知識を得て感染対策に努めたい。

首里城の象徴「弁柄色」よみがえる
清水JV、上塗り作業本格化

首里城（那覇市）を象徴する暗い赤みを帯びた「弁柄色」がよみがえる――。清水建設・國場組・大米建設JVが施工する首里城正殿の復元工事（発注者＝内閣府沖縄総合事務局）で、正殿外部に天然顔料「久志間切弁柄」を用いた塗料を上塗りする作業が本格化している。

先行して下地付けと中塗りを進め、現在は上塗りによって正殿の色調を整えている。

久志間切弁柄を用いた仕上げ塗り（報道発表資料から）

湿気や雨水から守る効果に優れた桐油で弁柄を溶いた塗料を上塗りすることで、高温多湿で日射が強い沖縄の気候から正殿を守る機能も果たす。現場には約30人の塗装工が入場。３割が20代の若手で伝統技術の習得に努めている。

塗装工事が終盤に近づく今秋にも建築中の正殿を覆う素屋根の解体工事が始まり、弁柄色に染まった正殿が少しずつ姿を現していく。2026年９月末の竣工を目指している。

三門のスチールインサート
設備 バリアス
仮設 足場インサート
土木 異形DKインサート
建築・土木・設備・インサートの 株式会社 三門
MIKADO
本社：東京都中央区新富1-19-2 TEL 03-3553-2281
営業所：札幌・仙台・東京・大阪・福岡・沖縄

TKJ Tsukiji works ラバーストッパー 「つなぐ」を考える®
安全対策商品!! 現場の車止めに!!
溝があり滑りにくい! 取手が光る! 軽量タイプ!
選べる4種類
小 RS8810　小小 RS8800　中 RS8820　大 RS8830
ヒモを通せる穴があります! ※（大）のみ
光る取手

商品コード	RS8800	RS8810	RS8820	RS8830
型式	小小 No.8800	小 No.8810	中 No.8820	大 No.8830
大きさ（約）	H100×W100×L151	H100×W115×L213	H140×W130×L223	H180×W130×L267
重さ（約）	1.15kg	1.86kg	3.0kg	3.8kg
適応タイヤ外径	500Φ前後	650Φ前後	1000Φ前後	1200Φ前後

油圧高圧継手・ホース金具の製造メーカー
株式会社 築地製作所
営業拠点 東京本社・札幌・仙台・新潟・広島・福岡
HPはこちら▶

未来を築く次世代の選択
LUXE MUKI
超高耐候性無機有機ハイブリッド塗料
ラグゼMUKIシリーズ
無機と有機の融合から生まれたハイグレードの次世代塗料
新発売！
外壁用 ラグゼMUKIトップ・ラグゼMUKIトップマイルド
屋根用 ラグゼMUKIルーフマイルド
屋根遮熱 ラグゼMUKIルーフマイルド遮熱
KANSAI PAINT
【お問い合わせ】関西ペイント株式会社 建設塗料本部 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1 TEL.03-5711-8904
関西ペイントホームページ www.kansai.co.jp